



ゆきうさぎ

YUKIUSAGI

いわや 岩谷医院会報 第18号 平成20年1月15日

岩谷医院

院長 岩谷 文夫 (循環器専門医、心臓血管外科専門医、健康スポーツ医)

副院長 岩谷 恭子 (循環器専門医、内科認定医、産業医)

岩谷医院ホームページアドレス <http://iwaya-clinic.com>

新年明けまして

おめでとぅございませす

平成二十年の新年を迎え
ました。今年はどんな年になる
のでしょうか？

昨年あまり明るいニュー
スは無かったですね。その年
を象徴する一文字に『偽』が



選ばれてしまいました。皆さんもやっぱりと思
われたでしょうか？妙に納得してしまうところ
が怖いすね。このままでは国民一人一人、不
信感の塊になってしまいます。日本人の誇り、
品格はどこに行ってしまったのでしょうか？医
療についても同じことが言えますね。こんな時
だからこそ個々の資質が問われます。岩谷医院
でも、この厳しい医療費削減計画の中、誇りを
持ち、品格をもって医療に取り組もうと、新年
を迎え、スタッフ一同、心を新たにいたしてお
ります。ヒヤシンス医療は今年も健在です。今
年もよろしくお願い申し上げます。

院長より
一言

ゆきうさぎ川柳箱

会報『ゆきうさぎ』には患者さんのコーナーとして、俳句、川柳、短歌などを募集し掲載させていただいておりますが、お好きな方は勿論のこと、あまりご自分ではなさらなくてもこのコーナーを楽しみにされている方が多いようです。特に川柳は形式にとらわれないことと、作品からかもし出される、本音やら皮肉やら、ユーモアなど、思わず顔がほころんでしまう方も多いようです。皆さんも、一度挑戦してはいかがでしょうか？皆さんがいつでも、自由に投稿できるように待合室に『川柳箱』を備えました。紙と筆（ペン）も用意しましたので是非トライしてみてください。たくさん集まるようでしたら、年間賞なども企画したく思っております。また医院へのアドバイスなどにも是非ご利用下さい。ただしこの箱は『川柳箱』で『千両箱』ではありませんのでお金の投げ入れはご遠慮下さい。念のため。

ハトのお話 (二)

福島市太田町 飯田輝 男さん

『鳩ポッポ』の歌のなぞ

ぼっぽっぼ 鳩ぼっぼ
豆がほしいか そらやるぞ
みんな 仲良く 食べに來い
明治の頃から歌われたこの童謡は、日本人の愛唱歌です。『みんな仲良く食べに來い』だから、駅前にいるドバトを歌った歌ですね。

でも、ちょっと待って下さい。「ぼっぽっぼ」とは何でしょうか。「鳩ぼっぼ」と呼びかけていますね。ウーム? どうやらこれは、鳩の鳴き声のようです。でも、ドバトは「ゲッゲル ゲッゲル」と鳴きます。(繁殖期に、駅前広場で、オスがこのように鳴きながらメスを追っかけるをよく見かけますね)
実は、これは「デーデーポッポ」と鳴くキジバトの、「ポッポ」の部分で「ぼっぽっぼ」とリズムにして、歌詞に取り入れたものです。

つまり、この歌は野鳥の「キジバト」と、飼鳥の「ドバト」とを一緒にして、同じハトだと誤解して作詞された、いわば、まちがった歌詞なのです。
この歌を作詞した東クメは明治二年に新宮市(和歌山県)で生まれた音楽家です。子供の頃に、「デーデーポッポ」をハトの鳴き声だと教えられたクメが、東京音楽学校を卒業して音楽の教師になり、東京浅草寺の境内に群がる、かわいいドバトを見て、
♪ ぼっぽっぼ 鳩ぼっぼ... という童謡を作ったのです。

浅草寺本堂の近くに「東クメがこの鳩を見て『鳩ぼっぼ』の歌を作った」という歌碑があります。出身地、新宮市の駅前にも記念碑があります。出身地、新宮市、まちがっていても、この歌は身近な鳩を歌った、明治時代からの名曲です。今後、親子で歌い継いでゆきましょう。明治の初め頃のことですから、日本人はドバトもキジバトも同じ鳩だと思っていたのです。

去年平成十九年の十月に郵便局が民営化された記念に、八十円の郵便切手の絵柄が、ヤマセミ ↓ キジバトと、身近な野鳥に変わりました。

* また一つ勉強させていただきました。それにしても飯田さんの博識には驚きです。(院長)

寒い 鮫

福島市北沢又 鈴木 一さん

八戸から暫く行くと鮫という駅がある。途中とても風光明媚な八戸海岸を見ることが出来る。鮫は七月だというのにヤマセのせいでも寒い。貨物のホームにはサメがゴロゴロしていてもグロテスクで嫌な感じだ。これは終戦直後の頃のことである。その頃の私はフカヒレなど食することも知らず、せいせい皮を利用するぐらいであった。近年カブ島のウミネコが有名となり、訪れる人も多いたか。昔はウミネコは僅かであったが、砂浜には馬が放牧されとても淋しいところであった。私は最近そこを通ったが、とても懐かしいひと時であった。

* 懐かしい場所を訪れ、昔の思い出をセピア色の写真で見ているかのような文章ですね(院長)

【福島民友新聞入選作】

隈畔の想い出

福島市鎌田 佐藤千恵さん

はるか昔、三十七年前の若い若い頃の私の「隈畔の想い出」です。
お見合をした彼と三回目のデートで、映画「サウンド・オブ・ミュージック」を見た。映画館を出た二人の足は、県庁裏の隈畔へ。もちろん、私は、映画の主人公の明るく美しいマリアに、彼は、ハンサムですてきなトラップ大佐になりきっていた。

県庁脇の紅葉山公園から石段を下り隈畔に出た。時は初夏の夕刻、今まさに夕陽の沈まんとするころ。川面はキラキラキラキラと、夕映え色に染まり、さざ波を立てながらゆったりと流れる阿武隈川。土手に腰を下ろした二人にとって、この上もないシチュエーション。彼「結婚しよう。」私「はい。」

隈畔が、私たちの仲人になってくれた。
今、こうして再び、あの時の隈畔にたたく私のそばに、主人は、もういない。
しかし、阿武隈川は、変わらなく豊かな流れを見せてくれている。

* 「ゆきうさぎ14号」に続き投稿していただきました。いまは亡き主人との懐かしい想い出。ジーンときたのは私だけでしょうか。(院長)

短歌、俳句、川柳

坂大りんさん(福島市佐倉下)

短歌

落葉道 一葉一葉が 恋しくて 袖にかくして あたため帰る

俳句

雪吊りや 傘の根元に 姫小松

川柳

ゆきうさぎ 今年五才の 七五三

小丸孝也さん(福島市蓬萊町)

短歌

北満の 戦に逝きし わが父の 残せし句碑の 前にたたずむ 沐浴に 心なごます 初孫の 仕草の数々

まなうら去らぬ 声低く『異国の丘』を 口ずさむ 凍土に眠る 兄を忍びて 先生を 囲みて語る 『陽日の郷』 米寿ことほぎ 尽きぬ話題を

俳句

平鉄の さびを落として 冬に入る 行く末を 静かに想う 夜長かな 医者いらす 大根の葉の 青さかな わが生涯 居合いに賭けし 初稽古

川柳

脳トレで 親父の居場所 拡げたい 過疎の村 戻る故郷 消えてゆく 名演技 涙はらはら すぐ笑い 筋力を 少し戻して 独りたち

福島秋祭り

(太田町、矢剣町)

* 少子化のせいでしょうか、大人が目立ちますが、こういう伝統行事は続けたいですね (院長)



福島市野田町 亀谷 正さん

* ゆきうさぎ3号に一回目のコンサートをご紹介しましたが、昨年十月、二回目のコンサートを辰巳屋で開かれ、副院長ともどもお招きいただきました。亀谷さんの向楽心に脱帽です (院長)



敬老会にて米寿者を代表して花束を
いただく [市長とともに]

福島市矢剣町 西川 道子さん

* いつも大変若々しい西川さんです。おめでとうございます (院長)



俳句

蒲倉琴子さん (福島市松川町)

虫千や 家紋の由来 姑 (はは) に聞く
宿下駄の 緒の弛るかりき 今年竹
地蔵見の 忍のころ草を もち歩く
青葉木菟 東司の重き 扉かな

* 腰浅く 掛けて一駅 日のつまる

この句は、十二月のNHK総合テレビの番組で見事特選に選ばれました。おめでとうございます (院長)

丹治泉水さん (福島市泉)

川柳

石地藏 語りかけてる 過疎の里
子の夢を 願って結ぶ 絵馬の紐
したたかな 驕りが招く 金縛り
少しだけ 未練を残し 子の巣立ち
傷心を 優しく包む 介護の手

熊川アブさん (福島市腰浜町)

川柳 (ゴルフ)

帽子良し 靴良し球良し クラブ良し
今日もまた 朝一ショットで 終わつたな
バンカーが 怖くてゴルフ できるけえ
6インチ あなたのインチは インチキね
ゴルフ場 少エネ利用は カートだけ
参加賞 ゴルフ好きには 讃歌賞
100切れる これが入れば 100切れる
次回こそ 誓いを胸に 帰途につく

* 今回もたくさん作品を有難うございました。紙面の都合で少し選択させていただきました。腰浜町の熊川さんは今回初参加です (院長)

医院便り

医院からのお知らせ



【診療について】

副院長は火曜、水曜の午前中のみ大原総合病院での診療になります。それ以外の日は、院長、副院長の2人体制になりますので、以前より待ち時間は少なくなっています。また診察の順番は患者さんの状態により変わることがあります。ご了承下さい。

【駐車場について】

医院横の7台の駐車スペースの他に小島薬局の駐車場も空いている場合には利用可能ですので受付にその旨お知らせ下さい。雨のときは駐車場および玄関前はすべりやすくなっていますのでお気をつけ下さい。玄関にはタオルを用意しておきますのでご自由にお使い下さい。

保険証：受診の際は忘れずにお持ち下さい。

老人医療に該当しない70歳以上の方には、高齢受給者証が個人ごとに交付されます。負担割合が表示されており、被保険者証と一緒に提示して下さい。

『院長より一言』で紹介された「川柳箱」は院長からの依頼で飯坂町の谷品さんに作っていただきました。前面、側面に樹齢100年のケヤキの板が使われています。【ゆきうさぎ川柳箱】の字は会報ゆきうさぎのタイトル字を書いていたいただいた『みい工房』川越さんをお願いいたしました。

皆様に末永く愛される川柳箱になってほしいと願っています。



小島薬局だより

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、よいお正月をお迎えになられたことと思います。お正月というものは、一生の間に幾度も幾度も迎えるものでございますが、何十度目のお正月であっても、心がときめき、顔が輝き、胸がおどるという生き生きした感激に打たれ、新しい気分にしてくれますね。「一年の計は元旦にあり」と申しますが、新しいお正月気分が、人に喜びを与え、希望を与え、計画を与えてくれるのだと思います。

この新しい年の、一日一日を、皆様のご希望に添う、お役に立てる薬局として、スタッフ一同努力を重ねてまいりたいと思います。

今年もどうぞよろしく願い申し上げます。

看護師さんより

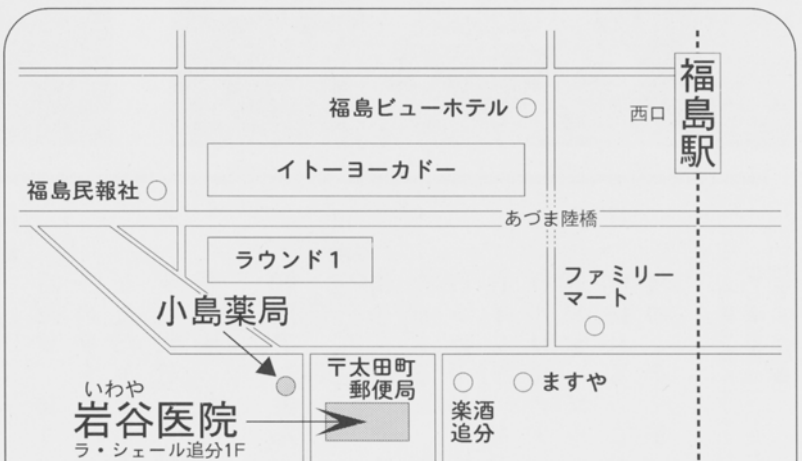
岩谷医院オリジナル通院手帳とは

知ってる人は知っているが知らない人は損をしていますよ。

- 特長1 病歴、通院経過が一目で分かる (あなたの第二のカルテ)
 - 特長2 現在服用中の薬が一目でわかる
 - 特長3 緊急、病気、ケガ時 (休日、夜間、旅行など) 持参して安心
 - 特長4 パスポートのように写真も貼れ、関連病院の情報も記載されている
- 万が一のためにもいつも携帯し、自分を守ってください。くれぐれも失くさないように。大事な個人情報です。

あとかき

「伝統は守るものではなく壊すものになってしまった」年末のNHKのドラマ『はげたか』(再放送)の中でレンズ磨き50年の職人さんが言った言葉が強く頭に残っています。今年には川柳で世の中を明るくしていきましょう。(一寸大げさでしたね)今年もたくさんのご投稿をお願いいたします。



【福島駅西口より 徒歩7分】 〒960-8068 福島市太田町17-27
ラ・シェール追分1F
でんわ 024-528-7770/FAX 024-528-7780

★ 診療時間 ★

平日 (木曜日を除く) は 午前9時~12時 午後2時~5時30分
土曜日は 午前9時~午後2時 (昼休みなしで診療いたします)
休診日は 日曜日・祝祭日・木曜日

★ 診療項目 ★

内科疾患・循環器疾患・動静脈疾患・先天性心疾患・人工弁管理・ペースメーカー管理・人工血管管理・基本検診・健康スポーツメディカルチェック など